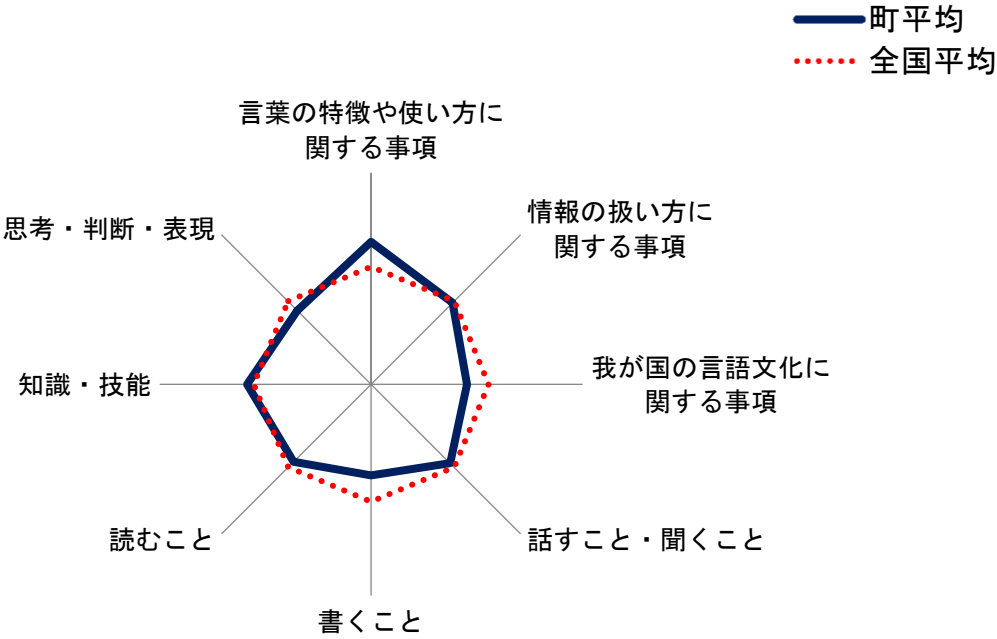
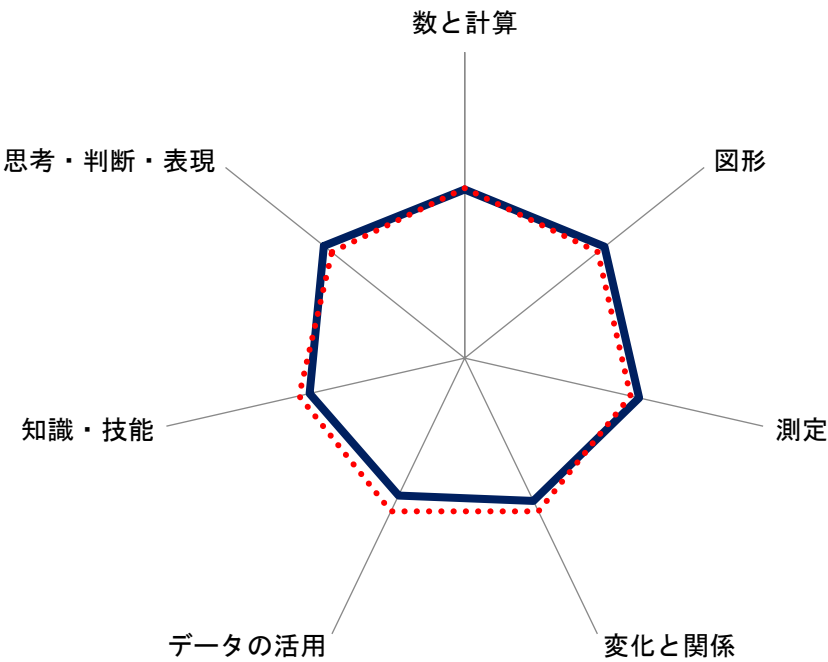


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

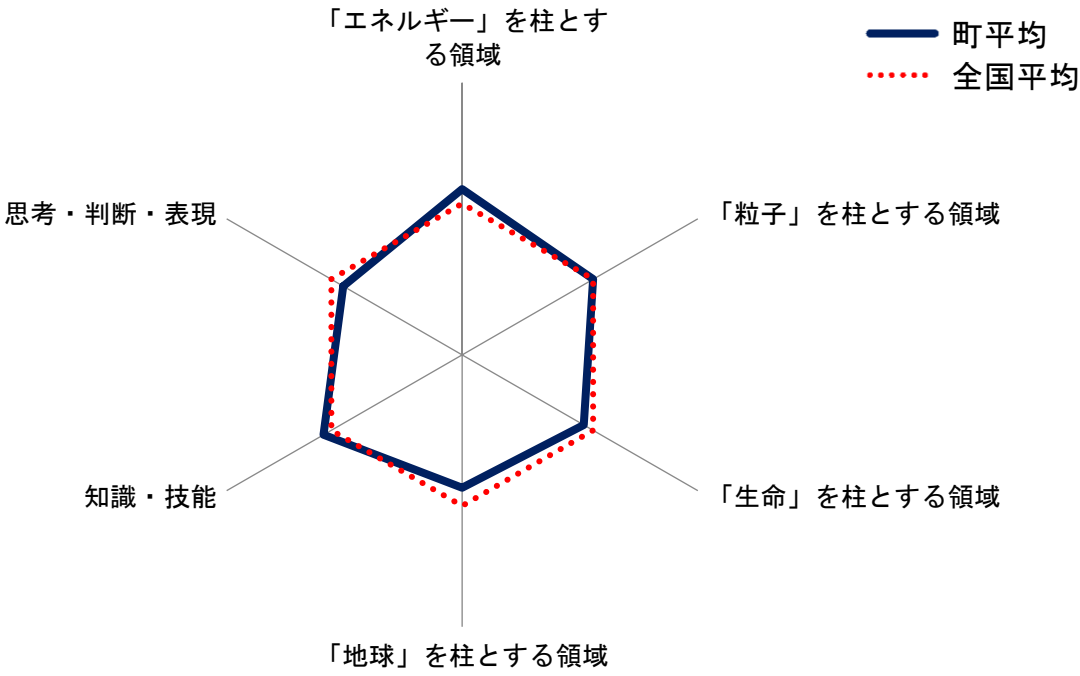


【算数】

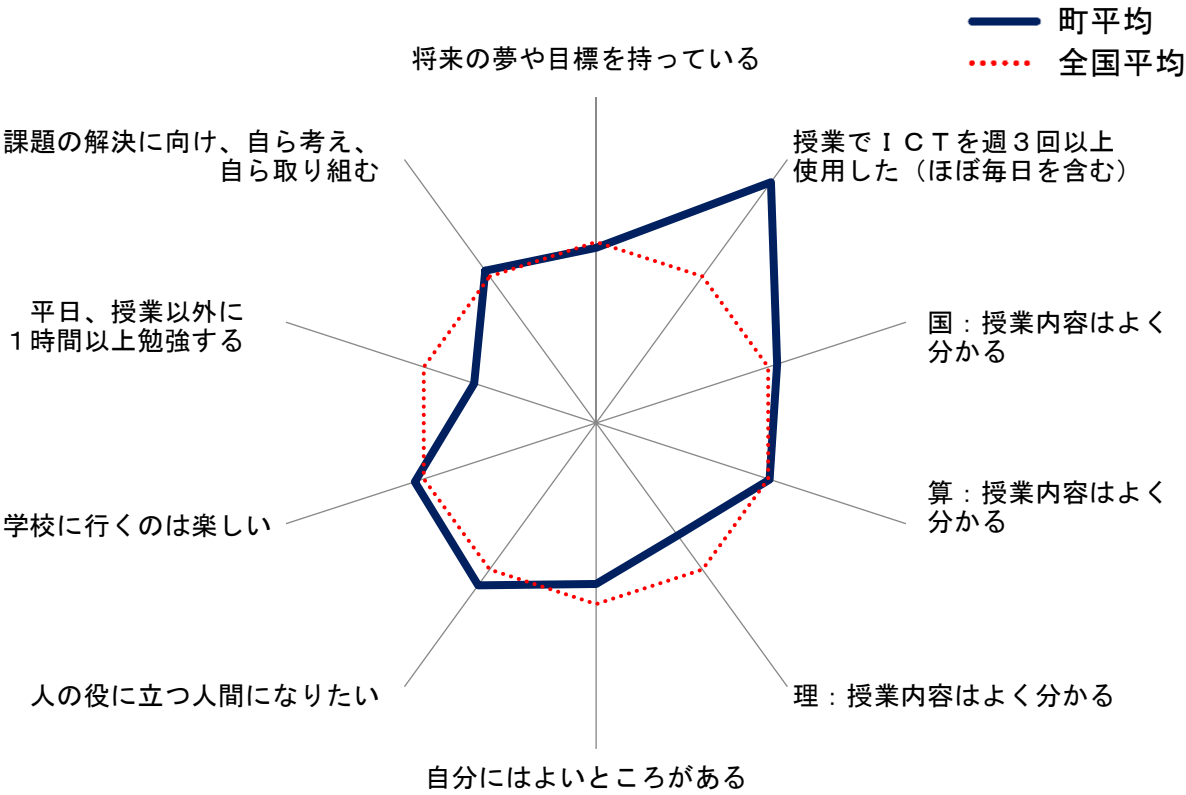


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目が昨年度に引き続き全国平均を大きく上回っているものの、昨年度良好な結果であった「我が国の言語文化に関する事項」や「書くこと」の項目に課題が見られる。また、算数の「データの活用」、理科の「『地球』を柱とする領域」の項目も、全国平均を下回っており、課題である。今後は、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるとともに、知識を活用して課題を解決する活動を取り入れた授業改善を推進していくことが望まれる。

児童質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っており、ICTを活用した授業の実践研究が推進されている成果がうかがえる。一方、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、理科の「授業内容はよく分かる」の項目は、全国平均を大きく下回っており、課題である。今後も、町独自の学力向上委員会において、児童にとって「分かる」「できる」を実感できる授業づくりについて、研修を深め、効果的な取組の共有を図るとともに、家庭学習の充実を図る取組を継続していくことが望まれる。